

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 成田良治
幹事 鷲野義明
会報委員長 杉浦比左夫

No. 5

ロータリーを高めよ!

思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 ハワロ V.C. コスタ

第395回例会 平成2年7月31日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 67(66)名 出席 51名
出席率 77.27%
前回 7月24日 (修正出席率) 98.48%

◇ビジター紹介 4名

◇お誕生日祝福

杉浦君(6/30)、笹野君(7/30)
鈴木(正)夫人(8/2)

◇ニコボックス

釜谷健一君 本日新入会員卓話をさせて戴きます。よろしくお願ひ申し上げます。
小林 明君 7/19ゴルフ会、太田幹事、上野副幹事、本当にご苦労様でした。
水野民也君 今年も恒例の第11回ミックス・ダブルス・オープンボリング大会を、8月4・5日行います。よろしければ見に来て下さい。
杉浦比左夫君 ホームクラブの欠席が続きました。誕生日祝い。
笹野義春君 誕生日祝い。
鈴木正男君 夫人誕生日祝い。
新美 敢君 結婚記念日祝い。

◇鷲野幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. イラン地震の援助金一人1,000円を募金箱にお願いします。

◇財団奨学生 高橋 直美さん挨拶

千種RCの皆様のおかげで、ウィスコンシン州立大学に留学させていただくことになりました。ありがとうございます。

私は、アメリカで外国語としての日本語教授法を勉強して、将来外国人の方々に日本語

を教える教師になりたいと思っております。
1年間ですが、千種RCの奨学生として恥ずかしくないようがんばってきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

◇成田会長挨拶

最近の映画で“あげまん”が評判になっているので、私も先日見て来ました。宣伝によりますと、「男につきをもたらず女を、古来人々はそれを“アゲマン”の女と呼びならわしてきた。」とあります。

ロータリアンの皆さんも恐らく、あげまんの奥さんが居ればこそ今日の地位におられるのではないかと思うのであります。やはり男でもつきのある男と、つきのない男とがおりまして、つきのある男は何をしても良い方向に進むし、つきのない男は何をやっても駄目なものです。

現代の“あげまん”の代表は、ロータリアンの奥さんとすれば皆さんも納得されるのではないかと思います。

それでは歴史上の“あげまん”女性を一人あげよ、と言われるなら私は、山内一豊の妻、千代ではないかと思われまふ。近江勢多城主、山岡影隆に200石に召し抱えられていた山内一豊が、関ヶ原の戦いの後、土佐24万石の領主となったがこれは妻、千代の内助の功が大きいと言われているのです。(近江勢多200石、近江唐国400石、近江長浜5千石、若狭から長浜2万石、遠江掛川5万石、土佐24万石)千代のエピソードという、新井白石が書いた「藩翰譜」のなかに一豊とその妻、千代が馬を買った有名な話が出てきます。又家康が諸将の功績のことで一豊については、次の様に語ったと言われています。

「山内一豊の忠義は木の幹で、ほかの者の忠義は枝葉のようである。」

山内一豊がこのように家康の信頼を得るためには、妻、千代の死を賭けた内助の功があったという。

一豊が家康に従って上杉討伐に従った時、千代は大阪にいた。石田三成らは家康に従って上杉勢と戦う武将たちの妻子を監視しており、千代の命も夫の動向によっては危険だった。たまたま増田長盛と長束正家の連名で三成の挙兵に一豊も協力するようにとの手紙が千代の許へ届いた。

千代はすぐに一豊に手紙を書き、長盛からきたものと一緒に小山(栃木県)の陣にいた一豊のところへ送った。一豊は手紙を受け取ると2通とも封を開けずに家康に届けた。家康はこれを読み、大阪城内の情報がよくわかったので喜んだ。特に一豊あての妻の手紙に書かれている内容を見て大いに満足した。そこには、自分はいざというときは自害して、果てるからそのことは心配せず、まず家康への忠勤第一に励む様にと書かれていたのである。そうした手紙を一豊が読まずに提出できたのは、別に届いていた千代からの密書がその様にすることを指示していたからで、心憎い程の内助の功であった。これによって一豊は、家康の高い評価を獲得し、土佐24万石の領主にまでなったのである。

◇講演

“菓子について”

会員 西野 英樹 君



菓子の歴史について、その一端を申し上げたいと思います。菓子その中の和菓子とは何かと問われますと、純日本的な物であるとは誠にいいがたい。日本の文化、伝統を考えます時に、日本の文化は、さまざまな外来の文化を取り入れ、消化し、吸収して日本の風土習慣にあった。独自の文化を創り上げて来たと思います。和菓子と言えどもその例外ではありません。日本の菓子の歴史を考えますに大別して、四つの節目があると思います。第一に遣唐使がもたらした唐菓子、第二に禅とともに渡来した点心、第三にキリシタン宣教師がもたらした南蛮菓子、この三つの影響を受け、茶の湯の発展にうながされ、元禄時代

には、現在の和菓子とあまりかわらない菓子が作られる様になりました。第四として、明治の初めに洋菓子が入り今日に至っています。さらに細かく分けますと、古代と江戸時代の和菓子の成熟期をくわえ六つに分れると思います。今より二〇〇〇年前の弥生時代は、稲作農耕を主としていたので、出土品の中に、焼米は、糯等、穀物の加工品があります。焼米は、米を煎った物、糯は糯米を蒸して乾燥させたものです。いずれも常用、間食用、兵糧用として用いられた。一般に菓子と称するに二種類あり、一つは「古能美」、一つは「久佐久多毛能」として、和名抄に記載されています。「古能美」には、柘榴、梨、栗、柿等、「久佐久多毛能」には、うり、なすび、あけび等あり、合わせて、菓子故ち、くだものと呼んでいたと思われます。亦日本書紀に神武天皇によって原始的な水飴が作られたと記録されています。故ち、天皇の祈り言として、「我れ今まさに八十平釜を以て水無くして飴を作らん。飴成らば我れ必ず鋒刃を借りずしていながらに天下を平げん」の一説があります。これは糯米をモヤシで糖化させて水飴を作ったと思います。この時代に一つの伝説があります。西暦九十年、垂仁天皇の時代に、帰化人の田道間守をして「非時香菓」を求めた常世国につかわされた。十年後に目的の菓子を捜して持ち帰った時には、天皇は他界していた。悲しみの余り墓前で菓子を半分食べ、殉死をしたことから、現在田道間守を菓子業界の祖神として尊敬しているのはこうした由来によります。

“塗料について”

会員 釜谷 健一 君



(塗料の歴史)

日本では古くから漆が使われてきましたが、現在の塗料の原形になった、いわゆる洋式のペイントが最初に登場するのは黒船と言われているとあります。

嘉永6年(1853年)浦賀へ来航したペリーの黒船に防腐剤として木タールが使用された。

その後日本の塗料は海軍と共に発展の道をたどり、以来130年余り、今日ではあらゆる産

業分野に使用される様になり、塗料の総生産量は年間200万トン強でアメリカに次ぎ、世界第二位にランクされる様になりました。

(塗料の働き)

大きくわけまして3つの特徴を持っております。

第一は物を美しくする働きを持っている事、第二は物を保護すること、第三は物にさまざまな機能を持たせる事が出来ます。

(最近の塗料)

塗料も最近是新素材などへの新しい対応や新技術の開発により品種も増え、高級化が進んでいます。

又デザイン性、意匠性が重視されはじめ、塗膜の表面に優しさ、柔かい肌触りを感じさせたり、微妙なニュアンスや深みを求められる様になって来ました。

(自動車用塗料)

パールマイカ塗料が開発され、マイカの働きで、光が複雑に反射をして、見る角度によっては、光沢や色調も変幻自在になる塗料が使用される様になりました。

さらにその上に、フッ樹脂塗料を塗装すれば、発水性が向上し、又紫外線による塗膜の劣化を防ぎます。

この様に最近の塗料の世界は大きく変わりつつあります。

塗料は多品種少量生産の最たるもので約1000～1300種類の商品があります。

私共の会社は、製造メーカーのラインで使用される工業用塗料を中心として販売や、塗装プラント、設備などの設計、製作、施工なども行っております。

今日は塗料の歴史、働きや、最新の技術によって開発された自動車用塗料を例にとり、お話しをさせて戴きました。

◇会長杯取り切り戦優勝祝賀会

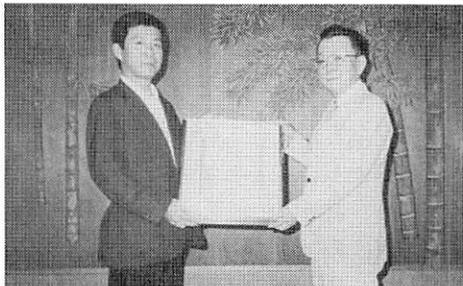
前年度会長杯取り切り戦は、7月19日(木)瀬田カントリークラブにて熱戦が繰り広げられましたが、栄冠は中山 信夫君、小林夫人が手にされました。

優勝者を祝う会は、8月2日(木)松楓閣にて開催されました。



ゴルフは夫人の方がお上手だから(?)と自らおっしゃり、ご自分ではなさらない前会長もお祝いにかけつけて下さいました。

はじめて会員佐野君の前会長杯を手にした中山君は、感激もひとしお……。早くも来年に向けてがんばりたいとのこと。



女性は小林夫人が、4年連続会長杯獲得という快挙を成し遂げられ、皆さんから羨望のまなざしで見つめられていました。



宴たけなわの頃、佐久間君から優勝者と、この場にかけつけて下さった前会長に花束が届き、より一層の花を添え、祝宴は大変な盛り上がりでした。

◇7月度理事役員会議

1. 1989～90年度決算・1990～91年度予算の件
2. ホームクラブ例会出席時間の件
3. 8月7日(火) 8周年記念例会の件
4. 加藤 敏昌君 長期欠席の件
5. 豊田三好RC認証状伝達式の件
6. イラン地震寄付の件
7. フィリピン 水野氏救援金の件
8. 米山委員長会議(9月11日)の件
9. 16RC幹事会(7月24日)の件
10. 秋季家族会の件

◇次回例会(8月7日)

創立8周年記念例会(立食)

◇次々回例会(8月21日)

ファイアサイドミーティング(ゆかた会)
松楓閣にてPM6:30より

コスタ会長からの手紙 〈環境保全〉

1990年5月29日

親愛なるガバナー・繁男

私がR.I.会長として最も強調したいことは、「われらの天体、地球の保全」であります。私の最大の関心事は「環境保全」であり、各クラブが、この問題につきそれぞれの立場から役割を果たしてほしいと思っております。

この運動を推進するために、近く“THE GREEN WAVE”を発行します。第1回はカラーで“R.I. NEWS”の最近号と一緒に送られる予定です。このパンフレットは「環境保全」についてのテーマの説明、各クラブが地域社会において何をなすべきか、ロータリアン個人が家庭で、仕事場で何をなすべきか、エネルギー資源の節約、公害との戦い等々の項目を含んでおります。

さらに大切なことは、このパンフレットはそれぞれの地域で、ロータリークラブが今やっていることを広く皆様に伝えます。

貴地区において、市街地清掃、公園清掃、河川浄化への試み、植樹、歴史的なものの保存、大気汚染等々の問題に対し、現在進行中のプロジェクトにどんなものがあるのでしょうか。

できれば写真と共に詳細をお送り頂ければ、ロータリアンの皆様に喜んで読んでもらえることになりましょう。その他、画期的で斬新なプログラムがあれば、それを報告して下さい。“THE GREEN WAVE”の第1号は間もなく発行されます。

貴地区における環境保全委員長のお名前と住所を知らせて下さい。もしできるならクラブの委員長さんについても。

パウロ V.C. コスタ
R.I.会長エレクト

(中村ガバナー 抄訳)

ごあいさつ

名古屋第二分区代理 岡本 櫻二

名古屋第二分区代理に就任するにあたり、ご挨拶の原稿を名古屋大学医学部付属病院のベッドの上で書いております。私事で恐縮ですが、慢性閉塞性血管炎で第1回目の手術を2月8日に、第2回目の手術を5月1日に受け入院加療中であります。

分区代理は大変責任が重たいので、就任について非常に迷いました。こんな健康状態では皆様にご迷惑をかけるであろうと。そして、就任を辞退したいと名古屋名東RCに申し出たのですが、私の健康がある程度回復すれば全会員がどんな応援でもするから、是非就任しなさいとあたたかく励ましてくれました。また、病院の担当教授にもご意見を伺いましたら、私にやる気があれば体の方は大丈夫である。さらに、大きな目標をもってやる気をおこすことが、病気の回復にも役立つと思うというご意見をいただきました。

名古屋名東RCの友人達から、満身に会長の責も果していない私に力強く、また涙が出るくらいうれしい励ましに勇気づけられ、5月1日に1日も早く回復すべく、第2回目の手術を受けました。現在もベッドの上で懸命の努力をしております。それにしても、7月1日分区代理就任の日が目の前に迫っているので気が気ではありません。何度も分区代理付理事、IM担当理事が病院を訪ねてくれていろいろ準備をしてくれています。以上のような状態ですので私自身は100%分区代理の責を果せないかもしれませんが、名古屋名東RCの友人達が100%以上にバックアップしてくれますので何分よろしくお願いする次第であります。

就任のご挨拶にならなかったと思いますが、最大の努力をして分区代理を務めさせていただくと自分自身に云い聞かせながら筆をおきます。(5月14日記)